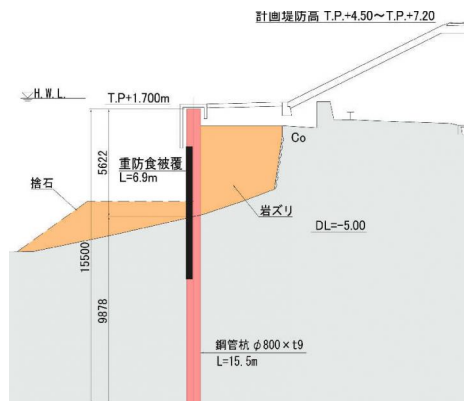




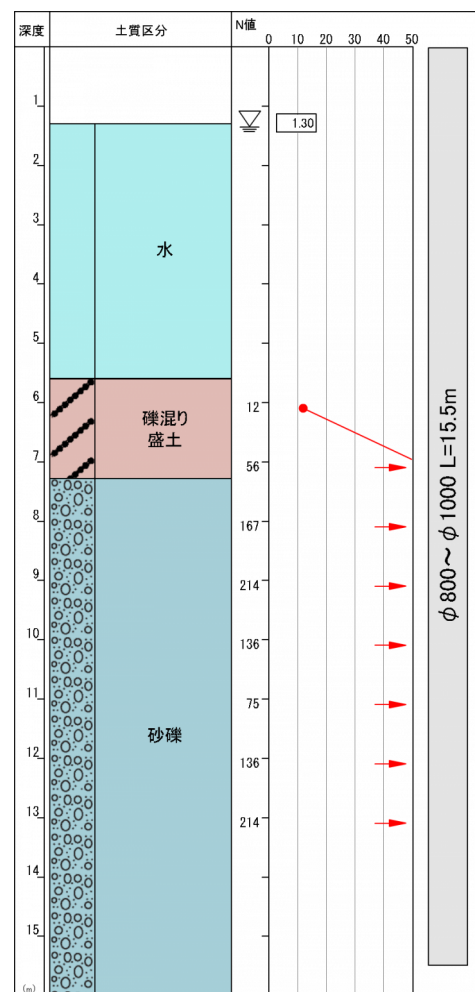
▲内海橋地区施工状況



▲混在していた転石



▲完成断面図



工 事 名	平成24年度 旧北上川右岸内海橋地区、南浜地区、左岸藤巻地区下流護岸工事
工 事 目 的	河川堤防前面側の洗掘防止兼護岸壁【3工区】
施 工 場 所	宮城県 石巻市門脇町～中央地内
発 注 者	国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
元 請 業 者	佐々木建設・渡辺土建経常建設共同企業体、(株)瀬崎組、(株)日本国土開発
施 工 業 者	(株)技研施工、(株)角藤
施 工 期 間	2013年11月～2014年5月
施 工 機 械	ジャイロパイラー SP7,ジャイロパイラー SP5, 先行削孔杭φ800
型 式 ・ 寸 法	φ800 t9 L=15.5m n=402本、φ1000 t14 L=19.5m n=31本
特 長 ・ 効 果	・先端ビット付きの鋼管杭を回転圧入することによって、硬質な砂礫地盤(最大N値214)に施工が可能。 ・鋼管杭の計画法線上に地中障害物(転石1.5m相当)が確認されたが、先行削孔を行うことで鋼管壁の施工を可能とした。 ・水辺離陸地などの困難な現場条件において、仮設栈橋等を一切不要とした。 ・重防食付き鋼管杭に保護板を用いることで損傷なく圧入施工を実施した。